

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 日本史学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験、外国人留学生入学試験 (RJ 方式)
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施年月日 (試験日) /Exam Date	2025 年 9 月 6 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>当該試験は、①論述問題、②語句説明、③史料問題で構成される。個別の解答の提示は出題の性格になじまないため、①～③それぞれについて、採点時の観点を中心に述べる。</p> <p>① 論述問題：</p> <p>各時代における日本史研究上の重要なテーマについて4題が出題され、そのうち1題を選択して解答する形式である。解答におけるポイントは、そのテーマについての的確な文章で説明できることは前提であり、研究史に立ち入って議論を展開できているか、現状の研究水準や今後の課題についても目配りできているか、等を特に重視するものである。</p> <p>② 語句説明：</p> <p>各時代における日本史研究上の重要な語句(事件や人名)について、端的な説明を求めらるものである。6題中4題を選択して解答する形式であるため、専門とする時代だけでなく、幅広く日本史研究の基本的な知識を身につけているかが問われる。</p> <p>③ 史料問題：</p> <p>各時代における日本史研究上の重要な史料について、その内容を読解して設問に解答する形式で、4題中2題を選択して解答する形式であるため、専門とする時代だけでなく、隣接する時代など、幅広い史料について読解力を持っているかが問われる。</p> <p>史料読解のスキルは、日本史研究の基本的かつ重要な能力であり、漢文史料の読み方や解釈はもちろん、文字の配置や史料の様式などから歴史的情報を読みとる古文書学の理解も求められる。また、中世史料にかんしては、写真を掲載して、古文書のくずし字を読解する能力を求めるのが通例である。</p>	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 日本史学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験
試験科目 /Exam Subject	外国語科目（英語）
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年9月6日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>一般には外国語を使用する機会の少ない日本史学専修であっても、近年、大学院入学後は、次第に外国語での研究成果の公表が必要になることが多くなりつつある。ゆえに、最低限の読解・運用能力を持つことが必要とされる。それに向けた学習として、複雑な表現を多用した文章ではなく、スタンダードな英語の運用に慣れることが必要である。</p> <p>そうしたことを考慮して、日本史学専修では例年、できるだけ平易な文章で日本史の概説的な内容を記述した文章の全文和訳をもとめる出題をしている。一文一文の和訳が若干不正確であっても、全体として大意が理解できているか否かを採点基準として重視している。</p> <p>問題文の範囲については、受験者が古代から近現代まで各時代を専攻する幅広い範囲にわたることを考慮して、特定の時代の限られた分野の記述はできるかぎり避け、一定限度の語学力があれば、解答可能なような出題を心がけている。また、一般に分かりにくい専門用語を含んだ英文の出題も避けている。</p> <p>今回は、20世紀を代表する著名な歴史学者網野善彦の著書『無縁・公界・楽』について書かれた、社会学者の文章から出題した。なお試験実施に当たっては、「本文中には、誤植と考えられる語がありますが、出典とした原著に由来するものですので、原著のまま、掲出しています。」との付記を、会場で全受験生に掲示した。</p>	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 日本史学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験、社会人入学試験 外国人留学生入学試験 (RJ 方式)
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施年月日 (試験日) /Exam Date	2026 年 2 月 8 日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>当該試験は、①論述問題、②語句説明、③史料問題で構成される。個別の解答の提示は出題の性格になじまないため、①～③それぞれについて、採点時の観点を中心に述べる。</p> <p>① 論述問題：</p> <p>各時代における日本史研究上の重要なテーマについて4題が出題され、そのうち1題を選択して解答する形式である。解答におけるポイントは、そのテーマについての的確な文章で説明できることは前提であり、研究史に立ち入って議論を展開できているか、現状の研究水準や今後の課題についても目配りできているか、等を特に重視するものである。</p> <p>② 語句説明：</p> <p>各時代における日本史研究上の重要な語句(事件や人名)について、端的な説明を求めるものである。6題中4題を選択して解答する形式であるため、専門とする時代だけでなく、幅広く日本史研究の基本的な知識を身につけているかが問われる。</p> <p>③ 史料問題：</p> <p>各時代における日本史研究上の重要な史料について、その内容を読解して設問に解答する形式で、4題中2題を選択して解答する形式であるため、専門とする時代だけでなく、隣接する時代など、幅広い史料について読解力を持っているかが問われる。</p> <p>史料読解のスキルは、日本史研究の基本的かつ重要な能力であり、漢文史料の読み方や解釈はもちろん、文字の配置や史料の様式などから歴史的情報を読みとる古文書学の理解も求められる。また、中世史料にかんしては、写真を掲載して、古文書のくずし字を読解する能力を求めるのが通例であるが、今回は、近代史料でも写真が掲載された。</p>	